

令和5年度上半期

事業実施状況報告

令和5年4月1日～令和5年9月30日

公益社団法人東京労働基準協会連合会

中央労働基準協会支部

《關係資料》

- 資料 1 収支計算書対比（総括）
- 資料 2 令和 5 年度収支計算書予測実績
- 資料 3 貸借対照表
- 資料 4 財産目録
- 資料 5 令和 5 年度上期 講習事業収支状況等(4～9 月)

報告事項

1 令和5年度上半期（4～9月）業務報告

（1）会計報告

収入全体では、年間予算 1 億 4831 万円余に対して、上半期収入は 9689 万円余で、年間予算対比約 65%となっており、対前年同期比で 325 万円余の増額となっている。

収入のうち、会費収入は、年間予算 1350 万円に対して、上半期収入は 1206 万円余で、年間予算対比約 89%であった。対前年同期比で約 85 万円の減額となっており、会員数の減少が影響しているものである。

なお、会費が未納となっている会員事業場に対しては定期的に督促通知を發出して解消を図っており、引き続き、今後も督促を継続することとする。

講習会収入は、講習で使用するテキスト代を含め年間予算 2050 万円に対して、上半期収入は 1907 万円余で、年間予算対比約 93%であった。収支計算書においてはテキスト代を含め対前年同期比で 367 万円余の増額となっている。

これは、新型コロナウイルスの感染症拡大防止の観点から、定員を半減にして講習会を開催していたが、令和5年5月8日から新型コロナウイルスの感染症の位置づけが、2類相当から5類感染症に引き下げられた事により、6月以降の講習会よりコロナ禍以前の定員として開催している。

また、昨年度から石綿技能講習、特定化学物質等技能講習が法改正の影響により毎回定員となっており、石綿技能講習に関してはいまだに好調が続いている。

事業収入のうち主要な収入となっている賃貸料（貸室、ホール貸出、駐車場収入）は、年間予算 1 億 1300 万円に対して、上半期収入は 6491 万円余で、年間予算対比約 57%となり、対前年同期比とほぼ同額となっている。

予算比では十分に達成しているが、コロナ禍前と実績を比較すると 100 万円以上の減となっている。コロナ禍前は、土日祭日もニーズがあり貸出しを行っていたが、コロナ禍で多くの貸出し先がオンラインセミナー等に移行した事により、貸出しが殆どなくなってしまった。

当支部としては、「ハイブリット」可能なホールを目指し令和5年に Wifi 環境をより充実させた。

また、本年度より駐車場料金、ホール貸出し料金を外税にし、値上げを行ったことにより収入増を図っている。

支出全体では、年間予算 1 億 3200 万円に対して上半期支出は 5541 万円余で、年間予算対比約 42%、対前年同期比で 651 万円余の増額となっている。

主な要因として、①役員増及び退職者に対する退職給付費用等による人件費が増加したこと、②イベント行動制限が緩和されたことにより懇親会を開催したこと等により支部総会費用が嵩んだこと、③派遣社員の正社員登用としたことによる派遣元企業への紹介手数料が発生したこと、④昨今の物価上昇による全体的な費用の増加もあり、支出が増加傾向となっている。下記に記載しているが、本年8月をもって長期借入が終了したため、次年度以降は支出が減り現預金が増加するものと思われるものの、建物の老朽化に伴い修繕費の増加が考えられるため、修繕計画を加味しながら進めてまいります。

※ 長期借入金返済状況

①借入先 三菱 UFJ 銀行麴町支店

②令和4年度返済状況

元金返済分

借入金 1 億円

平成 29 年 8 月 2 日～令和 5 年 8 月 2 日（金利 2.50% 6 年払）

元金返済額 16,664,000 円（1 年度合計額）

金利返済額 648,283 円（ 同上 ）

③令和5年度返済状況（令和5年度9月末現在）

元金返済額 8,332,000 円

金利返済額 281,072 円

9 月末借入金残高 0 円

※ 令和5年8月をもって、長期借入金の返済は全て終了した。

(2) 講習事業報告

令和5年度上半期の講習事業の開催実績は38回で、前年同期比で同じであった。講習会等の参加者数においては、1,356人となっており、前年同期比で299人(28.3%)の増加となった。

これは、(1)の会計報告において記載のとおり、令和5年5月8日から新型コロナウイルスの感染症の位置づけが、2類相当から5類感染症に引き下げられた事により、6月以降の講習会よりコロナ禍以前の定員として開催したこと、技能講習の開催回数が1回多く、かつ、参加人数が大幅に多くなったことにある。

よって、収入面においても参加者数が増加したことにより、前年同期比で約298万円(約47%)の増収となった。

費用については、4月より謝金を外税対応にしたため、10%増の449万円(前年同期419万円)となっている。

また、昨今の物価高の影響でテキスト代も軒並み値上げとなっており、172万円(前年同期161万円)であった。

今後においてもコロナ禍での影響は残るものの、引き続きニーズの把握等に努め、収入増が見込まれる有料講習を中心として、会員メリットにも配慮しつつ開催拡大に努めることとする。

(3) その他の事業報告

① ビル賃貸事業等について

中労基協ビルの事務所スペースについては、引き続き従前の賃借人との間での賃貸借契約関係が継続した。

また、4階ホールの貸出については、上半期において19回となっており、前年同期比で2回増加している。今後も、ZOOMやteams等による会議やセミナーが増えている状況から、web対応できる設備設定をしたこともあり、引き続き、本来行事との調整を図りつつホームページ掲載を継続するとともに、支部機関紙(中央労基協Report)に掲載する等積極的なホール貸しに努めることとする。

② 会員の入退会状況(令和5年9月末現在)について

令和5年3月末現在の会員数は継続事業（一括有期事業を含む）で784件となっている。

その後、令和5年9月末までの間に、退会が15件、入会が3件あり、純減12件であった。

退会の主な理由としては、経費削減、事業の移転・統合、廃止等が多く見られた。

- ・ 継続事業（一般の事業） 772件（△12）

2 その他の報告

（1）中央労働基準協会支部の行事予定

○令和5年度

- ・ 会計検査（支部会計幹事のみの対応）
R5.5.10（水）11:00～12:00
中労基協ビル4Fホール（千代田区二番町9-8）
- ・ 第1回支部幹事会・支部定時総会
R5.5.18（木）15:00～17:00
懇親会 17:30～19:00
経団連会館（千代田区大手町1-3-2）
- ・ 中央安全推進大会
R5.6.15（木）13:30～16:30
文京シビックホール 小ホール（文京区春日1-16-21）
- ・ 中央健康推進大会
R5.9.15（金）13:30～16:20
文京シビックホール 小ホール（文京区春日1-16-21）
- ・ 新春賀詞交歓会
R6.1.22（月）17:30～19:00
東京ドームホテルB1オーロラ（文京区後楽1-3-61）
- ・ 第2回支部幹事会
R6.3.12（火）16:00～17:00
中労基協ビル4Fホール（千代田区二番町9-8）

(2) 東京労働基準協会連合会本部の行事予定

○令和5年度

- ・本部会計監査

R5.5.12 (金) 16:00～17:00

中労基協ビル4Fホール (千代田区二番町9-8)

- ・第1回本部理事会

R5.5.23 (火) 13:00～14:30

- ・本部定時総会・第2回本部理事会

R5.6.13 (火) 15:30～16:25

16:30～16:40

ベルサール神保町アネックス (千代田区神田神保町2-36-1)

- ・第3回本部理事会

R5.12.8 (金) 10:30～12:00

アルカディア市ヶ谷 (千代田区九段北4-2-25)

- ・第4回本部理事会(予定)

R6年3月予定

(開催場所等未定)